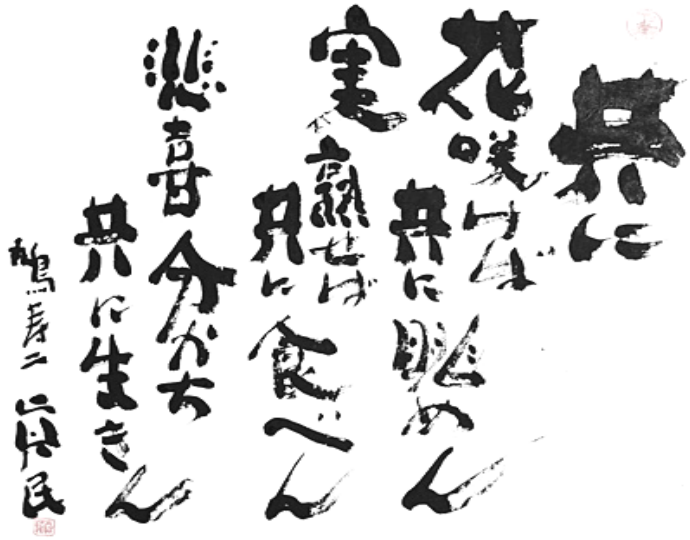
笑う門には福来たる

㈱日本交通社
発行人 光田秀之
☎089-946-3911



坂村真民記念館（砥部町）

明朗・愛和・喜働

庶民の夢

元日の夜から二日の朝にかけて見る夢を「初夢」といいます。

縁起の良い初夢の内容として広く知られている「一富士、二鷹、三なすび」は江戸時代に庶民の間で広がったとされ、これらが夢に現われると運気が上昇するといわれています。夢で運気を占う背景には、平和で豊かに暮らしたいという、庶民の切なる願いが込められているのでしょう。

諸説ありますが「富士」は、富士を無事とかけ、無事に過ごせる「鷹」は、素早く獲物を捕まえる姿から、チャンスを掴める「なすび」は、財や子孫繁栄を成す野菜だからという説が有名です。

「経営の神様」といわれたパナソニックの創業者・松下幸之助は、運や運気を研究し、運気上昇の鍵は「素直さ」にあると講演の中で話しています。

運気を上昇させるには、常に朗らかで仲良く、喜んで働くことに取り組むことが大切でしょう。

素直さを追求して運気を上昇させ、平和で豊かな人生を掴みましょう。

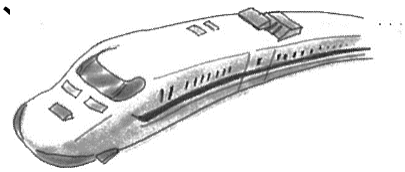
◆朗らかに働きましょう

「職場の教養」より

日本再発見！

ＪＲ東海・西日本/ドクターイエロー

東海道新幹線と山陽新幹線の区間で、線路や架線の状態、信号電流の状況などをチェックしながら走行する新幹線の車両。正式名称は「新幹線電気軌道総合試験車」といいかつては北陸新幹線や上越新幹線でも使用されていた。この通称は、車体の色とその役割に由来している。営業の妨げにならないよう、当初は夜中に動いていた。現在は１０日に１度程度運行し、走行時刻も非公開のため、鉄道ファンを中心に「見ると幸せになれる」といわれています。



保親さんの人生万感

冬木立葉を振り落とし凜然と
人は背を曲げ重ね着をする

幼き日友と遊びし雪合戦
久しく雪の積を覚えず

いま「ある」物を数える

無い物ばかりを探すと心は満たされない。自分には「こんなにある」「恵まれている」そう気づいた分だけ幸せな気持ちが湧いてくる。